



2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年4月28日

上場会社名 ホウライ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9679 URL <http://www.horai-kk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺本 敏之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務企画部長 (氏名) 大地 清 TEL 03-3546-2924
 四半期報告書提出予定日 2020年5月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の業績 (2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	2,415	△3.1	△120	—	25	△65.6	47	△94.0
2019年9月期第2四半期	2,493	2.1	△10	—	75	28.4	781	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	33.79	—
2019年9月期第2四半期	559.44	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	19,807	—	7,782	—	—	39.3
2019年9月期	20,606	—	7,848	—	—	38.1

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 7,782百万円 2019年9月期 7,848百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期 (予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

通期業績予想につきましては、現段階で合理的な業績予想の算定を行うことが困難なことから未定とし、記載しておりません。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。なお、当該理由につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	1,404,000株	2019年9月期	1,404,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	7,635株	2019年9月期	7,566株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	1,396,371株	2019年9月期2Q	1,396,448株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の着実な改善等を背景に景気は緩やかな回復基調で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、経済活動が抑制され、金融資本市場が大幅に変動するなど、景気は厳しい状況になりました。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めました。営業収益は、千本松牧場、ゴルフ事業は前年同期を上回りましたが、他の保険事業、不動産事業は前年同期を下回り、全体では前年同期比減収となりました。営業総利益は、ゴルフ事業は前年同期を上回りましたが、他の3事業は前年同期を下回り、全体では前年同期比減益となりました。一般管理費は前年同期を上回り、営業利益は前年同期比減益となりました。

当第2四半期累計期間の経営成績は、営業収益が2,415百万円(前年同期比78百万円減)、営業総利益は217百万円(前年同期比91百万円減)、一般管理費は337百万円(前年同期比17百万円増)となり、営業損失は120百万円(前年同期比109百万円悪化)となりました。営業外収益にゴルフ会員権消却益132百万円(前年同期比63百万円増)を計上したことを主因に、経常利益は25百万円(前年同期比49百万円減)、四半期純利益は前年同期の固定資産売却益等の計上がなくなり47百万円(前年同期比734百万円減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

①保険事業

お客様とのリレーションを強化し、リスク分析に基づくそれぞれのニーズに応じた保険商品の提案を行うリスクコンサルティング営業を推進しました。営業収益は、生命保険分野では商品見直しの影響を受けたことを主因に、損害保険分野では前年同期に大口火災保険契約を長期で更改したことによる反動減を主因に、両分野とも減少し、全体で528百万円(前年同期比68百万円減)となりました。営業原価は経費の増加により前年同期を上回り、営業総利益は154百万円(前年同期比83百万円減)となりました。

②不動産事業

賃貸不動産の入居率はほぼ満室状態で安定的に推移しましたが、前期に譲渡した銀座ホウライビルの賃料収入の減少を主因に営業収益は743百万円(前年同期比25百万円減)となりました。営業原価は銀座ホウライビル関連の経費の減少により前年同期を下回り、営業総利益は267百万円(前年同期比11百万円減)となりました。

③千本松牧場

秋の行楽シーズンに向けた企画、冬のスキー教室後の立寄り等をはじめ旅行会社との連携強化、各種メディアを活用した広告宣伝等により多くのお客様にご来場いただけるように努めました。しかしながら、10月から11月の悪天候や、2月下旬から3月にかけての新型コロナウイルス感染症の影響による団体のお客様の減少などにより、ご来場者数は前年同期比で1割程度減少となり、食堂・売店・アミューズメント等直販サービス部門の売上は前年同期比減収となりました。営業推進部門は、地元量販店への乳製品等の販売が好調に推移し、売上は前年同期比増収となりました。酪農部門は、生乳販売が前年同期比増収となりましたが、子牛販売量が前年同期比減少し、売上は前年同期比減収となりました。

この結果、営業収益は部門全体では851百万円(前年同期比13百万円増)となりました。営業原価は、人件費は減少しましたが、増収による売上原価の増加や運賃等経費の増加により前年同期を上回り、営業総損失は96百万円(前年同期比3百万円悪化)となりました。

④ゴルフ事業

男子プロのサードクオリファイメントトーナメントの開催、各種競技会誘致やテレビ放映等のメディアを活用した広報により、引き続き「戦略的なチャンピオンコース」としての認知度向上に積極的に取り組みました。また、コンペ誘致に向けた営業強化、Web上でのプラン充実、宿泊施設を活用した魅力的なパック商品の拡販等により、ご来場者の増加に努めるとともに、コースコンディションのきめ細やかな管理、快適にプレー頂くためのコース整備、売店品揃えの改善、宿泊施設の修繕等により、ご来場者の満足度向上に努めました。

この結果、ご来場者数は前年同期を上回り、営業収益は291百万円(前年同期比1百万円増)となりました。営業原価は、人件費の減少を主因に前年同期を下回り、営業総損失は108百万円(前年同期比7百万円改善)となりました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,952,549	6,133,476
受取手形及び売掛金	368,658	336,351
商品及び製品	146,877	118,973
仕掛品	7,092	27,122
原材料及び貯蔵品	54,134	55,499
その他	81,399	79,198
貸倒引当金	△364	△60
流動資産合計	7,610,346	6,750,562
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,737,945	2,705,556
土地	7,278,212	7,278,212
その他(純額)	1,813,737	1,938,642
有形固定資産合計	11,829,895	11,922,411
無形固定資産		
	51,707	42,533
投資その他の資産		
その他	1,137,822	1,114,836
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,114,822	1,091,836
固定資産合計	12,996,425	13,056,781
資産合計	20,606,771	19,807,343
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,188	78,089
未払法人税等	393,864	22,385
引当金	44,851	54,632
資産除去債務	—	1,700
圧縮未決算特別勘定	2,998,382	2,998,382
その他	814,513	1,250,073
流動負債合計	4,338,800	4,405,263
固定負債		
長期預り保証金	7,943,448	7,222,486
引当金	135,950	92,212
資産除去債務	118,675	107,012
その他	221,538	198,194
固定負債合計	8,419,612	7,619,905
負債合計	12,758,413	12,025,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金	527,052	527,052
利益剰余金	2,894,651	2,872,007
自己株式	△18,450	△18,648
株主資本合計	7,743,804	7,720,961
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	104,554	61,213
評価・換算差額等合計	104,554	61,213
純資産合計	7,848,358	7,782,175
負債純資産合計	20,606,771	19,807,343

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業収益	2,493,865	2,415,439
営業原価	2,184,545	2,198,018
営業総利益	309,319	217,420
一般管理費	319,804	337,476
営業損失(△)	△10,485	△120,056
営業外収益		
受取利息	135	90
受取配当金	2,203	2,867
会員権消却益	69,045	132,375
その他	14,862	17,013
営業外収益合計	86,245	152,346
営業外費用		
支払利息	96	80
乳牛除売却損	—	5,526
その他	628	892
営業外費用合計	724	6,498
経常利益	75,035	25,791
特別利益		
固定資産売却益	5,324,684	—
特別利益合計	5,324,684	—
特別損失		
固定資産除売却損	10,947	3,091
投資有価証券評価損	40,000	—
圧縮未決算特別勘定繰入額	4,240,000	—
特別損失合計	4,290,947	3,091
税引前四半期純利益	1,108,773	22,699
法人税、住民税及び事業税	347,318	4,738
法人税等調整額	△19,774	△29,216
法人税等合計	327,543	△24,477
四半期純利益	781,229	47,177

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。